

タスクフォースの設置について

1. 事業評価タスクフォース

(1) 目的

- ・ JFA が実施している既存の諸施策について、その実効性・必要性等について評価する。
- ・ 事業推進主体である各種委員会／各部署が検討・実施している事業の評価も含み、本タスクフォースによる客観評価の実施により、主観的な立場、客観的な立場の双方の対話による、より効果的な施策推進を実現させる。

(2) メンバー(下線:リーダー)

- ・ 大仁邦彌(会長)、田嶋幸三(副会長)、原博実(専務理事)、福井一也(事務局長)、鈴木徳昭(事務局次長・総合企画部長)、加賀山公(管理部長)、安達健(総合企画部 担当部長)、貝瀬智洋(財務部 担当部長)

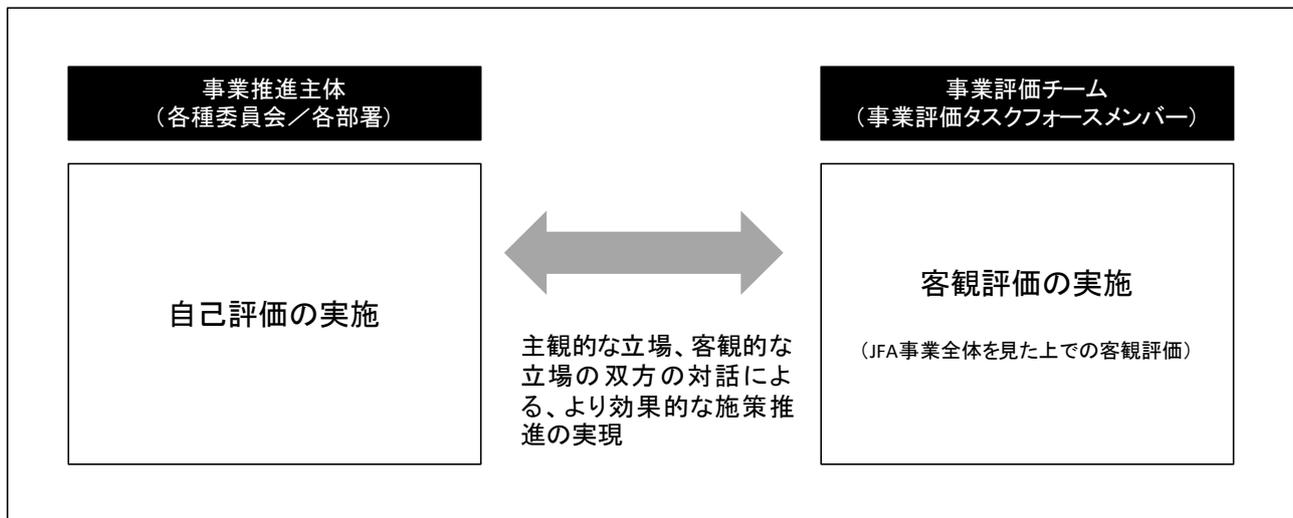
(3) 主管部署

- ・ 総合企画部、管理部、財務部

(4) 実施内容

- ・ 評価方法・評価体制の検討(ヒアリング、視察、評価レポート等のあり方の検討)
- ・ 評価対象事業の選定
- ・ 評価スケジュールの策定
- ・ 評価の実施

[事業評価方法のイメージ]



2. JFA メンバーシップタスクフォース

(1) 目的

- ・ 2019 年の導入に向けて、新たなメンバーシップ制度のあり方を検討し、推進する。
(既存の登録制度のあり方、現状把握も含む)

(2) メンバー(下線:リーダー)

- ・ 原博実(専務理事)、福井一也(事務局長)、鈴木徳昭(事務局次長・総合企画部長)、安達健(総合企画部 担当部長)、根本敦史(総合企画部)、早崎誠人(総合企画部)、本間千晶(総合企画部)、松田薫二(グラスルーツ推進部長)、中原大(グラスルーツ推進部)、倉田研太郎(マーケティング部)、谷島大知(マーケティング部)、荒谷潤(管理部)、竹嶋大助(情報システム室長)、福岡敬志郎(情報システム室)、西澤和剛(競技運営部長)、吉村政弘(競技運営部)、福士一郎太(コミュニケーション部)、増田尚弘(審判部長)、青木克史(技術部)、清野優斗(技術部)、亀井拓夫(女子部)
- ※この他、随時、都道府県協会、各種連盟、Jリーグ等からメンバーを追加予定

(3) 主管部署

- ・ 総合企画部

(4) 実施内容とスケジュール

- ①登録制度(選手・指導者・審判)のあり方の検討
 - 料金設定について(都道府県で異なる登録料)
 - 各種連盟との関係について(連盟加盟費の把握・あり方の検討を含む)
 - チーム登録のあり方について(種別ごとの課題、クラブ登録の検討を含む)
 - 対登録者サービスのあり方について
- ②地区・支部/市区郡町村協会、各種連盟等のあり方の検討
- ③登録料の徴収と還元金のあり方について
- ④既存の登録制度を超えたメンバーシップ制度(会員制度)のあり方の検討
 - 登録非更新者の扱いについて
 - 登録チーム内の未登録選手(4種低学年など)の扱いについて
 - 市区町村レベルの未登録プレイヤーの扱いについて
 - 運営スタッフ・ボランティア・サポーター・ファンの扱いについて
 - 会員へのサービスのあり方について
 - 登録メリットについて
 - 事業性について
- ⑤上記を踏まえた必要なシステムと推進体制のあり方の検討
- ⑥合意形成・説明・システム開発等

[スケジュール]

	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
新制度のあり方の検討	→							
制度設計	→	→	→		→	→	→	→
必要なシステムと推進体制の検討	→	→	→		→	→	→	→
合意形成・説明・システム開発		→	→	→	→			

3. 施設整備タスクフォース

(1) 目的

- ・ JFA ミッションとして新たに定めた「M2. 施設整備の推進(JFA グリーンプロジェクトの推進)」をより一層推し進めるために、スタジアムからグラスルーツのグラウンド、校庭・園庭の緑化まで、JFA ができうるあらゆる施策を再検討し、2022 年に向けた施設整備推進のロードマップを策定する。

(2) メンバー(下線:リーダー)

- ・ 瀧井敏郎(施設委員長)、池田省治(施設委員会委員)、鈴木徳昭、(事務局次長・総合企画部長)、安達健(総合企画部 担当部長)、根本敦史(総合企画部)、早崎誠人(総合企画部)、本間千晶(総合企画部)、松田薫二(グラスルーツ推進部長)、中原大(グラスルーツ推進部)、吉村政弘(競技運営部)、村上洋樹(競技運営部)

※この他、随時、Jリーグ等からメンバーを追加予定

※検討にあたっては施設委員会と連携(施設委員会所管事項のうち整備推進に特化し、本タスクフォースで検討)

(3) 主管部署

- ・ 総合企画部

(4) 検討内容とスケジュール

[2016 年 3 月末までに実施する内容]

- ・ JFA ができうる施策の洗い出し・検討

[JFA が現状実施・検討している施設関連の主な施策]

- ① 渉外(国や自治体等への働きかけ)
- ② JFA ナショナルフットボールセンター(仮称)の整備
- ③ ナショナルトレーニングセンター(NTC)等の整理
- ④ J ヴィレッジ対応
- ⑤ 都道府県フットボールセンター整備助成事業
- ⑥ サッカー施設整備助成事業
- ⑦ 復興支援関連施設整備
- ⑧ オリンピック キャンプ候補地技術要件確認
- ⑨ ポット苗方式芝生化モデル事業
- ⑩ JFA 施設フォーラム(人材養成整備/維持管理ノウハウ情報交流情報発信)
- ⑪ 施設整備コンサルタント(整備から維持管理まで)
- ⑫ 人工芝ピッチ公認
- ⑬ スタジアム(興業を前提としたスタンド付き)関連窓口
- ⑭ 全国大会会場等(国体ほか)関連窓口
- ⑮ サッカー施設調査

※上記のうち、「JFA ナショナルフットボールセンター(仮称)の整備」は本タスクフォースの検討対象外とする。

- ・ ロードマップの策定
- ・ 推進体制の検討(JFA 内各部署への業務の落とし込み)